第1　渡島管内の概況

1. 管内の概況

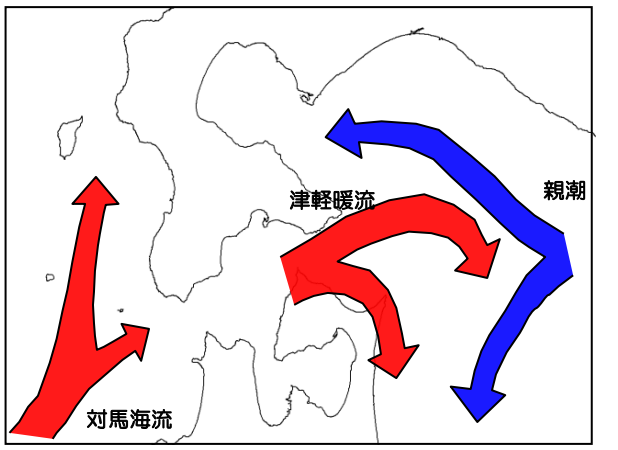
渡島管内は、北海道南西部、渡島半島に位置し、日本海、津軽海峡及び太平洋・噴火湾の3つの海域に面しており、南西端の松前町から北端の長万部町までの430.5kmに及ぶ非常に長い海岸線を有しています(旧熊石を含む)。

総面積は3,937.5k㎡で全道の4.7%を占め、長崎県（約4,131k㎡）に匹敵する広さです。2市、9町からなり、人口は377,705人と全道の74%を占めています。

市町村名	人口（人）	世帯数（戸）	総面積（km²）	海岸線(km)	備　考
松前町	6,753	3,878	293.3	73.2	
福島町	3,859	2,035	187.3	33.1	
知内町	4,198	2,077	196.8	19.0	
木古内町	3,956	2,148	221.9	15.7	
北斗市	45,657	22,327	397.4	20.4	H18.2.1合併（上磯町、大野町）
函館市	251,891	141,415	677.9	125.8	H16.12.1合併（函館市、戸井町、恵山町、椴法華村、南茅部町）
鹿部町	3,811	1,866	110.6	14.6	
森町	14,849	7,517	368.8	34.8	H17.4.1合併（森町、砂原町）
八雲町	15,673	8,087	956.1	55.7	H17.10.1合併（八雲町、熊石町）
長万部町	5,111	2,885	310.8	38.2	
七飯町	28,072	13,930	216.8	―	
合　計	383,830	208,165	3,937.4	430.5	

出典：住民基本台帳（令和4年1月1日現在）、平成27年国勢調査、国土交通省水管理・国土保全局編「海岸統計（令和3年版）」
国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調（令和4年7月1日現在）」

2. 水産業の概況



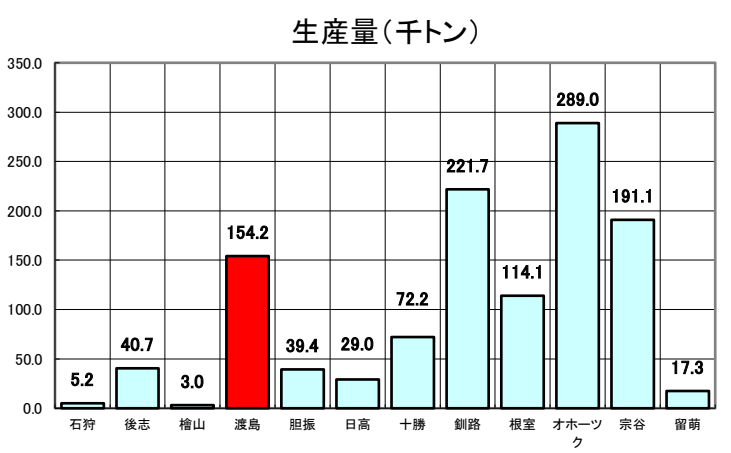
渡島管内では、日本海側は対馬海流（暖流）が北上し、その一部は津軽海峡を経て太平洋側に達します。また、太平洋側は、栄養豊富な親潮（寒流）が北から流入します。特に、暖流と寒流の混じり合う海域は魚の餌となるプランクトンが多く発生する好漁場となっています。

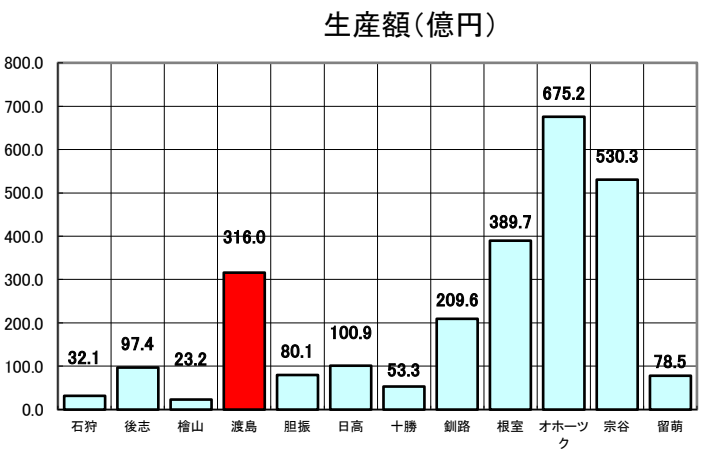
日本海側では、うに・あわび等の採介藻漁業、いか釣り漁業、まぐろ一本釣り漁業など、津軽海峡から太平洋側では、こんぶ漁業・養殖業、まぐろ延縄漁業、各種刺し網漁業や定置網漁業など、噴火湾では、ほたてがい養殖業、かれい刺し網漁業、えびかご漁業など、海域ごとに多種多様な漁業が行われています。

令和3年の漁業生産高は、生産量は154.2千tで全道（1176.9千t）の7.6%、生産額は316億円で全道（2586.3億円）の8.2%を占め、道内有数の漁業生産地域となっています。

近年は、資源水準の低迷などから漁業生産高は減少傾向にあり、漁業就業者の減少や高齢化が進んでいます。こうした中、振興局では、適切な資源管理や育てる漁業の推進、地域水産物の消費拡大や付加価値の向上、担い手の育成などの取組みを進めています。

【振興局別漁業生産高（令和3年）】





トピックス　令和４年(2022年)を振り返って

１）令和４年の管内生産量は13万６千トン台、金額で423億円

令和４年（1-12月）の渡島管内漁業生産高（速報値）は、数量で13万６千㌧と前年の15万４千㌧から１万８千㌧減少しました（前年比88%）が、魚種全体に単価が上昇したため、金額では前年を大幅に上回り、423億円と前年の314億円から109億円増加(前年比134%)し、４年ぶりに400億円を越えました。

主要魚種で見ますと、ホタテガイ養殖漁業が昨年に引き続き好調で、漁獲量は、６万501㌧（前年比115%)で、漁獲量が６万㌧を越えたのは、平成30年以来の４年ぶりです。金額では、205億円で前年比161%となりました。

スルメイカは、3,090㌧の漁獲量（前年比134%)で前年比を上回りましたが、依然として低位の漁獲が続いています。

近年、安定した漁獲量が続いているブリについては、5千㌧（前年比68%)と昨年より水揚げが減少しました。当課では、ブリの消費拡大事業に取り組んでいることから、ブリの漁獲量については、今後も注視する予定です。

秋サケは、全道的に漁獲が好調でしたが、管内でも同様に漁獲量･金額とも前年を上回りました。(漁獲量1,016㌧（前年比174%）・漁獲金額８億円（前年比146%))。

（※上記当数値は速報値です。確定値は令和５年12月頃となります。）

２）第71回 全国漁港漁場大会の開催及び漁港視察の実施

水産業や漁村の重要性を広く再認識し、漁港漁場整備の推進と漁村地域の振興発展を図るため昭和24年より毎年開催されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で２年延期の開催となり、平成６年以来28年ぶりに函館市で行われ、全国から1,450名の漁港漁場関係者が参集し、2023年度漁港･漁場･漁村･海岸整備予算の確保に関する提言などが取りまとめられました。

また、関連行事として漁港視察が行われ、函館漁港、北斗（上磯地区）漁港、鹿部漁港、登別漁港、古平漁港において49団体、延べ1,170名が参加したほか、レセプションに大会関係者140名が参加しました。

３）振興局水産課でも各種取り組みが３年ぶりに再開

新型コロナウイルスの感染拡大により、振興局水産課の会議やイベント等の各種取り組みを自粛していたところですが（一部はＷＥＢにより対応)、この間、私たちもウイルスとの付き合い方を十分に学び、安全･安心への対策が進んできたことから、コロナ禍以前の取り組みに戻り始めました。

小学生による放流体験会や一般消費者を対象とした料理講習会の開催、漁業士との共催による朝市や漁業士フォーラムの開催。さらには、大規模イベントである全国漁港漁場大会の函館市内での開催など、さまざまなイベントが３年ぶりに行われました。

渡島管内では、コロナウイルス感染は続いていますが、今後も、ウイズコロナのもと、浜との意思疎通やふれあいを第一に、水産課職員が一丸となり、取り組みを加速してまいります。

※ 本誌「渡島の水産」は、令和３年のデータを掲載していますが、
トピックスのみ令和４年の内容を掲載しています。

【参考】 渡島総合振興局管内の概要

1　基本項目

項　目	全　道	渡島管内	割　合	振興局別順位	摘　　要
面積(km2)	83,424	3,937	4.7%	10位	全国都道府県市区町村別面積調 (国土交通省国土地理院) (令和4年7月1日現在)
人口(人)	5,183,687	377,705	7.3%	3位	住民基本台帳(総務省) (令和4年1月1日現在)
漁業就業者数(人)	24,553	5,554	22.6%	1位	2018年漁業センサス(農林水産省) (平成30年11月1日現在)
漁業経営体数	11,089	2,885	26.0%	1位	2018年漁業センサス(農林水産省) (平成30年11月1日現在)
沿岸漁協数	71	14	19.7%	1位	北海道水産林務部調べ (令和4年8月1日現在)
港湾数	41	5	12.2%	3位	北海道水産林務部調べ (令和4年4月1日現在)
漁港数	243	57	23.5%	1位	北海道水産林務部調べ (令和4年4月1日現在)
漁船数	22,699	5,206	22.9%	1位	北海道漁船統計表 (令和3年12月末現在)
漁業生産量(t)	1,176,898	154,182	13.1%	4位	令和3年北海道水産現勢
漁業生産金額(百万円)	258,633	31,596	12.2%	4位	令和3年北海道水産現勢

※八雲町熊石地区を含む

2　主要魚種の漁獲量(令和3年)

項　目	全　道	渡島管内	割　合	振興局別順位	摘　　要
ほたてがい	443,079	52,455	11.8%	3位	1位:オホーツク(198,200t)
するめいか	6,814	2,330	34.2%	1位	
ぶり	14,077	7,283	51.7%	1位	
すけとうだら	162,085	20,025	12.4%	5位	1位:釧路(44,554t)
こんぶ	12,442	4,182	33.6%	1位	
さけ	53,651	642	1.2%	11位	1位:オホーツク(25,608t)
さば	29,374	23,917	81.4%	1位	
みずだこ	12,964	1,495	11.5%	5位	1位:宗谷(3,052t)
やりいか	245	231	94.3%	1位	
なまこ	1,780	256	14.4%	2位	1位:宗谷(742t)
まぐろ	315	275	87.3%	1位	
きたむらさきうに	332	100	30.1%	1位	
わかめ	167	156	93.4%	1位	
くじら	13	10	76.9%	1位	

出典:令和3年北海道水産現勢　　※単位:トン、八雲町熊石地区を含む